

《プロジェクト名 「霧下山そば」を利用した完全トレーサビリティ原材料による加工食品の開発》

市町村	大蔵村	対象地域	大蔵村地内	分野	農林水産物の加工(園芸)
実施主体名	加藤 和之 〔グリーンライスファーム・巖〕 神権現蕎麦	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	最上郡大蔵村
実施主体構成	個人				

プロジェクト	産出額(増加額)	26,000千円 (10,000千円)					
目標(5年後)	独自の目標項目	「霧下山そば」を生産から製粉まで一貫した経営(100%の完全トレーサビリティ原材料)により製粉の出荷増大を図る					
各年次目標	現 状	1年目(H21)	2年目(H22)	3年目(H23)	4年目(H24)	最終年(H25)	
	産 出 額	16,000千円	17,000千円	18,000千円	21,000千円	23,000千円	26,000千円
	製粉出荷額	1,800千円	3,200千円	6,000千円	8,000千円	10,000千円	12,000千円
プロジェクト概要	◎実施方針	標高の高い原野に栽培した「霧下山そば」として、減反蕎麦と分離し、100%自家調整し他店にないトレーサビリティの安心安全な商品の利用販売を目標とする。					
	○産出額の増大	生産から消費まで一貫した事業経営により製粉需要が増加している。県内そば店のほかに、東京・京都・茨城等需要大である。					
	○雇用の創出	(平成25年雇用人数 2人/日)					
	○創意工夫	そば栽培面積46haの蕎麦を栽培し、収量750俵の実績で農協への玄そば出荷である。今回は製粉機活用と販売方式の導入による経営の拡大を図る。					
	○実現性	そばの栽培歴は15年を超えている。平成20年度「経営革新」申請が山形県に承認されました。					
	○地域への波及効果	「霧下山そば(最上早生)」を100%利用し、管内そば店への供給による完全トレーサビリティ原材料によるそば食品の開発を図る。					
	○その他	そばの拘りで、減反そばと分離した「霧下山そば」の効果を100%醸し、消費者に好評である。今後は、休遊畑地(原野含む)の耕作によるそば生産の拡大と、管内そば店への供給の増加を図るものである。					

事業計画		実施年度(平成21年度)	実施年度(平成22年度以降)
	事業内容	そば製粉設備(①粉碎機、②製粉フルイ機、③そば脱皮機、④選別機)	①栽培畑整備、②丸抜きそば色彩選別機械、③そば乾燥機